



浜風だより

浜崎旧正月提灯祭り

浜崎の町並みに提灯を飾る、初めてのイベントが行われました。1月末から4月3日まで、旧山村家住宅内で色鮮やかな提灯を見ることができました。残念ながら、今回は新型コロナウイルス感染防止への配慮から周知宣伝は行えませんでした。1月31日から6日間は夕刻に提灯に灯りを入れ幻想的な景色が広がり、聞きつけて来場された方には大変喜んで頂きました。

このイベントは地域おこし協力隊の原田とおるさんから浜崎しつちよる会に提案があり、原田さんが提灯集めから飾り付けまで多くの作業を引き受けてくれました。

同じく地域おこし協力隊の廣瀬芳久さんは、節分に合わせ、芳和荘で竹灯籠と提灯の飾り付けを行い好評でした。このように、若い方が浜崎にかかわって下さるのは大変嬉しいことです。

浜崎の街には提灯が似合います。これからも数を増やしながらかつていければ、寒い季節の風物詩になると思います。(裏面に原田さんからのメッセージを掲載しています。)



浜崎と新町の町印が入った高張提灯も作製しました。

萩商港

前号では、離島と浜崎とを結んでいた松本川河口の浜崎港について触れました。今号では、現在、離島航路の定期船が発着している萩商港についてご紹介いたします。

この萩商港については、今から60年前の1962年(昭和37年)12月に起工され、1976年(昭和51年)8月に完成しています。14年間を要して整備されましたが、共用の開始は、翌年1977年(昭和52年)の4月からでした。

今回掲載の写真には、整備中の萩商港と、河口を出港していく定期船「たちばな」が写っています。日本海に面して遠浅の海と砂浜が広がっていた場所に、大規模な港が建設されつつあることが記録されています。

波風の影響を強く受ける場所に、長い年月と多額の建設費用をかけて、なぜ、これだけの規模の港が整備されたのでしょうか。素朴な疑問を抱き、萩市の歴史をまとめた『萩市史』に当たってみました。その理由は記されていませんでした。そこで、整備についての情報を得るために、起工前後に発行された地方新聞に目を通してみました。

幾つかの興味深い記事が認められましたので、以下に内容を要約して記します。

・流出する土砂で松本川や姥倉運河が常に浅くなってしまうことから、根本解決を国に陳情した

・(市内の小畑に全国の漁船が利用できる漁港が整備され始めていたので)「菊ヶ浜商港」を、建設省事業として整備を進めることになった

・港の整備により、鶴江や浜崎の漁船の係留や水揚げが容易になると期待された

・地盤が軟弱であることから整備が困難で、完成が危ぶまれた
起工時には、韓国との国交正常化協議が進められており、正常化後を見込み、萩(潟港を含めた萩港)・韓国(蔚山)間の貿易が模索された

(日韓国交正常化は1965年(昭和40年)。萩市と韓国の蔚山広域市との姉妹都市提携は1968年(昭和43年)、日韓国交正常化後、第一号の姉妹都市提携。)

・商港の起工に先立つ1962年10月には、将来の交易に備え、菊ヶ浜(浜崎住吉神社裏)に門司検疫所萩出張所が設けられた

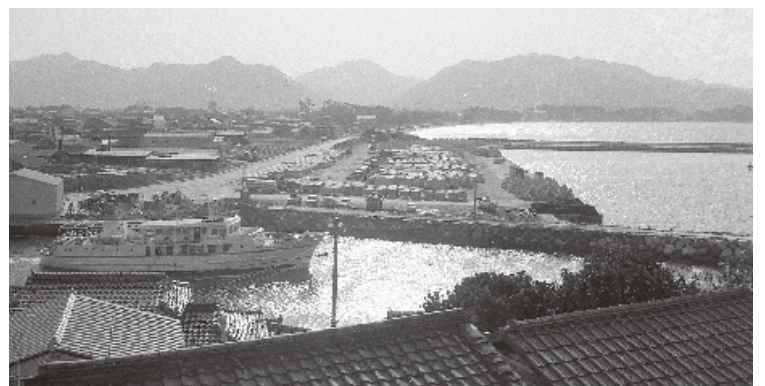
・萩・小郡間、萩・岩国間の交通網(鉄道、道路)を整備し、それと萩港を利用した韓国との貿易を結びつける議論が盛んになされた

いかがでしょうか。もう少し丹念に資料を確認する必要があるかもしれませんが、離島航路の安定的な運航だけでなく、海を介した広い範囲での交易が模索されていたことが見えてきました。

清水満幸



着工以前の松本川河口。砂州が発達している。



工事中の萩商港と定期船「たちばな」。

旧山村家住宅で提灯の飾り付けをしてくれた 原田とおるさんよりメッセージを頂きました。

『浜崎旧正月提灯祭り』に寄せて

はじめまして、原田とおると申します。地域おこし協力隊として、萩市文化財保護課にて活動しております。現在、文化財施設 旧山村家住宅にて、『浜崎旧正月提灯祭り』と題して雛人形と併せて提灯を4月3日まで展示しております。

旧正月といえば中国の行事だと思われがちですが、実は、日本も明治5年(1872年)まで太陰太陽暦(旧暦)を使っていたそうです。私は、中国に長く暮らしていたこともあり、春節時期になると友人が家族の食卓に誘ってくださり、爆竹を鳴らし、提灯を飾って、盛大にお祝いしていましたが、帰国後、旧正月を祝わない習慣に寂しさを感じていました。

萩市では、ひな祭りを旧暦に併せてお祝いしていることを知り、浜崎しっちゃん会の皆様に相談をしながら準備を進めておりましたが、開催直前に新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、文化財施設が休館となってしまいました。しかし、浜崎しっちゃん会のご協力の元、新年の週に大谷提灯店制作の浜崎町と浜崎新町の新作提灯と共に軒下24連結提灯にあかりを灯し、また芳和荘でも同じく地域おこし協力隊の廣瀬隊員の協力のもと、点灯することが出来ました。

これは、浜崎の皆様のご協力なくしては、実現出来なかったことをこの場を借りて御礼申し上げます。

また現代社会の変化の中で失われていく伝統、風習を地域で次世代へと伝えながら、自然の摂理と共に私たちの生活、成長があるということをおこなう節目を通して皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。ありがとうございました！



原田とおるさん一家



あっちゃん先生の ひとことアドバイス

春、何となくやる気が出ない、頭痛がする、日中眠くなるなどの症状はありませんか。このような症状は、自律神経の乱れによって引き起こされます。今回は、春の不調の原因とその予防についてお話しします。

自律神経は、私たちの体の働きを調節する交感神経と副交感神経があり、交感神経は、主に日中、活動しているときや緊張しているとき、ストレスを感じているときに働きます。副交感神経は、主に夜、眠っているときやリラックスしているときに働きます。心身を休め回復させる、体のメンテナンスを担う神経です。

春の不調の原因

1. 激しい寒暖差

寒暖差に対応するため交感神経が活発に働きます。そのためたくさんエネルギーが消費され、疲れやだるさを感じやすくなります。

2. めまぐるしい気圧の変化

低気圧と高気圧入れ替わりが頻繁に起こるため、自律神経の切り替えがうまくいかなくなります。低気圧の影響で血液中の酸素濃度が下がり、日中の眠気や体のだるさを感じやすくなります。

3. 日照時間の変化

冬に比べて日照時間が長くなるため、朝早く目覚めたり、夜更かしが増え、生活リズムが崩れやすくなります。

4. 生活環境の変化

卒業、進学、就職、転勤など、自分自身や家族の身の回りの生活が大きく変化する季節です。緊張感やストレスを感じることで自律神経のバランスが乱れやすくなります。

5. 花粉症

免疫機能が過剰に活動している状態になるため、それにより体力が低下し、眠気やだるさを感じます。

予防と対策

1. 朝晩、脱ぎ着ができるカーディガンなどの衣服で温度調節をしましょう
2. 副交感神経を活発に働かせ、体をリラックスモードにするため、食事は欠食なくバランスよく摂りましょう
3. 自律神経のバランスを整えるセロトニンが分泌されるように、こまめに体を動かしましょう
4. 副交感神経が働き自律神経のバランスが整うため、入浴はシャワーだけではなく湯船につかりましょう
5. 心身のリラックスのため、睡眠をしっかりとりましょう
6. 外出時はマスク、眼鏡、帽子など花粉症対策をしましょう
自律神経を整えて、春の不調を乗り切りましょう。

わたぬきクリニック院長 綿貫篤志

旧松屋生花店の 保存整備工事が進んでいます

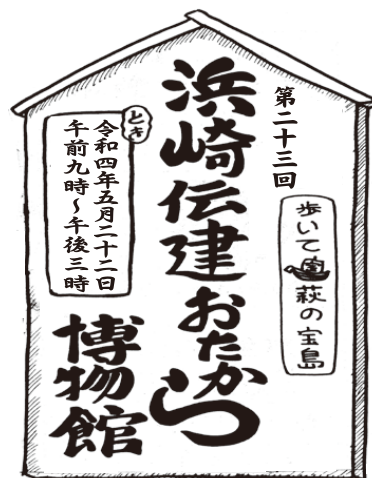


正面足場が取り払われました



着工前

令和3年度実施分の倉庫解体、軸部(柱・梁・土台等)の補修・組立、屋根葺き替え、外壁張り替えなどの工事が終了しました。今後は、今年12月末頃に外観が完了予定で、その後内装工事が始まる予定です。危険な部分もあった明治初期の建物が蘇っていきます。



5月22日(日)開催に向けて準備を進めています

◆編集後記◆
先日、旧三浦金物店の工所用足場が撤去され、美しく蘇った姿を見ることができました。旧松屋生花店も同様に、数年の工事期間がかりますが、町が変わっていくには5年・10年単位の年月が必要なのだと実感しました。
編集委員 宮田・川久保・岩崎・石村・平野

